

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2017年度 パフォーマンス向上会議情報(2018年2月13日(火)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2018年2月13日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード
1	【第二セシウム吸着装置用低圧変圧器二次側端子台リード線溶接部剥離について】 第二セシウム吸着装置用の低圧変圧器から異音が発生していることを確認。 低圧変圧器内部を点検したところ二次側端子台リード線溶接部が剥離していたことを確認。 電源を代替系統に切り替え、運転再開。	G II
2	【1号機ミスト散水設備空気圧縮機の機内圧力保持不可について】 ミスト散水を実施した際に空気圧縮機の機内圧力が保持されず、圧縮運転ができないことを確認。 逆止弁のリーク又は吸込み絞り弁の固着が原因と推定される。 至急、点検・修理を行う。	G II
3	【正門退構時のAPD不携帯について】 作業員は正門退構時にAPDを携帯すべきところ、その前に入退域管理棟に返却してしまい不携帯となった。	G III
4	【中継タンク(A)からモバイル逆浸透膜処理装置受入タンク(B)移送ホース破損について】 雨水処理のため中継タンク(A)からモバイル逆浸透膜装置受入タンク(B)に移送を行った際に、現場で異常音を確認したため移送を停止。 現場確認を行った結果、移送用耐圧ホースの連結部が外れ、移送水が堰外へ漏えいしていることを現場作業員が発見。 漏えい水は周辺の側溝内で止まっており、排水路へ流出していないことを確認。	G III